



平成26年6月10日

田原市教育委員会教育長 嶋津隆文 殿

渥美地域校区総代会会長 小久保 昌彦



中学校再編に係る渥美8校区での協議の状況報告について

昨年の7月来、渥美地域校区総代会に「中学校再編に関する研究会」を設けるなど、中学再編に関する様々な課題を検討してまいりました。また各校区においてもこの課題について、それぞれ議論をしてまいりました。

渥美8校区では、少子化問題への危機意識は共通であり中学校再編は重要と考えております。しかしながら具体的な再編の方向につきましては、各校区の地域性などが様々であり、統一的な方向性を出すにはいたっておりません。

そこで、依頼のありました協議の状況につきまして、現段階では、これまでの渥美地域校区総代会での協議の過程で、各校区から出された主な意見について、別紙にお示しすることをもって協議の進捗状況の報告といたします。

なお、ここでの協議では、渥美地域の中学校再編については、引き続き渥美地域校区総代会で検討していきますが、伊良湖岬中学校の移転時期及び移転先については、伊良湖岬3校区の意見を尊重し判断していただきたいと考えています。

<別紙>

中学校問題の渥美地域校区総代会打合せでの主な意見
(平成26年5月22日/和地市民館)

和地校区会長（渥美地域校区総代会会長）

それぞれの校区で自分達の考えを出していただきたい。校区で温度差があるようだ。学校新設はお金が掛かる。新設中学校ができれば渥美で一つの中学校でよいが、その見込みがなさそうな中、在るものを有効に使うという点から赤羽根中か福江中でよいではないか。

堀切校区会長

教育委員会が主体性を持って判断してもらえればそれはそれで良い。私は第一は中学校を新設すること、それが無理なら赤羽根中と考えている。防災面でできるだけ高台でないと住民の理解が得られない。

伊良湖校区会長

伊良湖の親は、アンケートでは福江中への意見が多かった。小学校から中学校へ行く際にはばらばらになるのは不自然である。渥美3中学は一つ新設する方針を出せば、地元も納得するのではないか。

福江校区会長

やりようがなかった。アンケートもと考えているが（今は）何もない。学校にお願いも出来ない。私の意見は言えるけど、PTAの人、自治会の考えは言えない。福江中は施設としては非常に良い。武道場も出来たし運動場は広い。

中山校区会長

福江中であれば福江中で良い。とはいえ他の7校区のことを考えると中学校を新設するのも良いと考えている。

清田校区会長

自分達は福江中（通学区域）なので受け入れる側である。岬中の子が福江に通うのは大変ではないか。やはり自治会の気持ちは旧渥美地区で1本にしたいと考えている。新設校でやれば、もっとまとまりやすい。

亀山校区会長

福江中であれば福江中で良い。とはいえ他の7校区のことを考えると中学校を新設するのも良いと考えている。

泉校区会長

校区で今年初め実施したアンケート結果では、赤羽根中（24%）、福江中（21%）、野田中（20%）などと意見がばらばらに分かれている。これが現在の校区の意見である。

和地校区長

岬中学校（跡地）での「伊良湖岬小」新設の話し合いで、小学校と中学校の共有という案が出たが、それで話しが頓挫した。中学校の問題を解決してから伊良湖岬小学校の建設場所を決めた方がよいのではないか。

堀切校区会長

教育委員会からたたき台を出してもらおうと考えやすい。